

ものづくり日本大賞について

ものづくり日本大賞とは、我が国産業・文化を支えてきた「ものづくり」を継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高め、その存在を広く社会に知らしめることを目的に創設した内閣総理大臣表彰です。

経済産業省、文部科学省、厚生労働省及び国土交通省の4省庁連携により、平成17年に第1回を開催し、その後2年に一度開催することとしています。

ものづくりの中核を担う中堅人材、伝統の技を支える熟練人材及び将来を担う若手人材を表彰します。また、チームワークが我が国の強みであることを踏まえ、個人のみならず、グループも受賞の対象とします。

各省庁は、有識者で構成される第三者委員会の審査等を踏まえて受賞者を選定し、受賞者には賞状が授与されるとともに、内閣総理大臣賞及び経済産業大臣賞の受賞者には副賞としてメダル・徽章・楯が授与されます。

併せて、北海道経済産業局の独自の取り組みとして、北海道の産業・文化の発展を支えてきた「ものづくり」を着実に継承し、さらに発展させるため、特に北海道地域の産業等に大きく貢献したものづくり人材を表彰し、その存在を広く社会に伝えるとともに、ものづくりに携わる人材の意欲を高めることを目的に、「ものづくり地域貢献賞」を設けております。